

令和 7 年 12 月吉日

山形県理学療法士会会員各位

一般社団法人山形県理学療法士会  
会 長 鈴木 健太  
学 術 局 長 大森 允  
学術大会部 長岡 孝則  
第 34 回山形県理学療法学会  
大 会 長 土井 崇  
準備委員長 芝田 修平

### 第 34 回山形県理学療法学会の開催および演題募集について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より当会活動に多大なご協力を賜りまして感謝申し上げます。

この度、第 34 回山形県理学療法学会を下記により開催いたします。テーマを『動き続ける人々を支える理学療法～廃用ゼロへの挑戦～』と題して、特別講演、シンポジウムおよび演題発表を企画し、盛大な大会になるよう準備を進めております。つきましては、多くの皆様にご参加いただきたくご案内申し上げます。

また、理学療法および関連分野に関する演題を募集いたします。別添の「第 34 回山形県理学療法学会演題募集要項」をご確認の上、奮ってご応募いただきますようお願い申し上げます。

敬具

### 記

大 会 名：第 34 回山形県理学療法学会  
会 期：令和 8 年 6 月 13 日（土）および 14 日（日）  
会 場：庄内町文化創造館 響ホール（庄内町）  
テ ー マ：動き続ける人々を支える理学療法 ～廃用ゼロへの挑戦～  
大 会 長：土井 崇（本間病院）  
参 加 費：山形県理学療法士会会員 3,000 円 非会員 4,000 円 学生 無料

### <添付文書>

- ・第 34 回山形県理学療法学会趣意書
- ・第 34 回山形県理学療法学会演題募集要項

## 第 34 回山形県理学療法学術大会趣意書

### 『動き続ける人々を支える理学療法～廃用ゼロへの挑戦～』

大会長 土井 崇

現代社会は、超高齢化や慢性疾患の増加、生活習慣病の拡大など、私たちの健康を取り巻く環境が大きく変化し続けています。このような状況において、「人生百年時代」と言われ、人々がその能力を最大限に活用し、地域社会で役割を果たしながら「動き続ける」ことが求められています。そのために医療・リハビリテーションは不可欠であり、特に Health care に多く携わる我々理学療法士が果たすべき役割は大変重要であると考えております。

我々理学療法士が対象とする疾患に「廃用症候群」があります。廃用症候群は、身体活動の低下や不適切な休息によって引き起こされ、身体機能の低下、精神的な活力の喪失、さらには生活の質（QOL）の著しい低下を招きます。しかし、これらは適切な理学療法の介入により予防や改善が可能であり、医療・介護・在宅分野すべてにおいて廃用症候群へのアプローチが必要であることから、理学療法士が担う役割はこれまで以上に重要視されています。廃用症候群の予防・改善を目的とした理学療法の実践は、高齢者や障害者のみならず、あらゆる年齢層の人々が運動機能を維持し、健康的な生活を送るための基盤となります。

そこで今回の学術大会のテーマを「動き続ける人々を支える理学療法～廃用ゼロへの挑戦～」としました。廃用症候群に対する対応は長い間、現場の課題として問題視され、理学療法士個人としての技術研鑽や、他職種連携でのリーダーシップの発揮など、様々な取り組みが続いています。しかし理学療法士として、理想とする結果を得られていない現場も多いのではないのでしょうか。「永遠の課題」と言っても過言ではないこの問題に、諦めず「廃用ゼロに向けて挑み続ける」という視点で、理学療法の新たな可能性や役割を見出すきっかけになる事を期待します。そして我々理学療法士の関わりで一人でも多くの方が廃用に陥らず、活力ある生活を取り戻せるようになるための学会にしたいと思えます。

特別講演では鶴岡協立リハビリテーション病院長の茂木紹良先生をお迎えし、「廃用症候群の総論～予防と介入の horizon～」という演題でご講演頂き、廃用症候群のメカニズムや、リハビリテーション専門医の立場から、我々理学療法士に期待することなどをお話頂きます。また、シンポジウムでは医療・介護・在宅分野それぞれでご活躍されている理学療法士から、各分野での廃用症候群への課題や実践例についてお話を頂き、悩みを抱えている理学療法士へのヒントになることや、各分野での課題を共有し、その取り組みに対する議論を深め、明日への糧となるようなセッションになる事を期待します。

理学療法は、単なるリハビリテーションの枠を超え、人々が人生を豊かにし続けるためのパートナーとして、多くの可能性を秘めています。本大会を通じて、廃用症候群を中心とした理学療法の新たな方向性を見だし、すべての人々が健やかに「動き続ける」社会の実現に向けた具体的な一歩をともに踏み出したいと考えています。運営スタッフ一同、ここ庄内の地で、会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 第 34 回山形県理学療法学会 演題募集要項

### 【応募資格】

1. 筆頭演者は、一般社団法人山形県理学療法士会の会員に限ります。
2. 会員でない方は、演題応募までに会員登録手続きを行って下さい。

### 【応募方法】

1. 山形県理学療法士会ホームページより「抄録サンプル」をダウンロードしていただき、抄録を作成してください。
2. 下記応募先のメールアドレスまで、抄録を添付し、演題の登録をお願いします。
3. メールの件名は『第 34 回山形県理学療法学会演題申込み』とし、メール本文には以下の項目を明記してください。
  - ① 筆頭演者氏名
  - ② 日本理学療法士協会会員番号
  - ③ 所属施設（自宅会員の場合は自宅と明記してください）
  - ④ 所属施設住所（自宅会員は住所を明記してください）
  - ⑤ 連絡先電話番号（大会当日連絡が取れる電話番号）
  - ⑥ 連絡先メールアドレス（筆頭演者本人のもの）
  - ⑦ 発表タイトル
  - ⑧ 発表希望形式（口述、ポスターから一つを選択）
  - ⑨ 演題キーワード（3 個以内）
  - ⑩ 履修区分（前期研修、後期研修、登録理学療法士のいずれか）
  - ⑪ 認定・専門理学療法士の有無（有りの場合、領域についてもお知らせください）
4. 連絡先メールアドレスは、こちらから添付ファイルをお送りすることもございますので、携帯電話のアドレスでの登録はできません。
5. 応募先：E-Mail：[yamagatapt.endai@gmail.com](mailto:yamagatapt.endai@gmail.com)  
〒998-8501 山形県酒田市あきほ町 30 番地  
地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院  
学術大会部 浅見 茉友（あさみ まゆ）宛 TEL：0234-26-2001

### 【登録期間】

令和 7 年 12 月 15 日（月）～令和 8 年 1 月 31 日（土）

### 【発表形式】

1. 口述発表、ポスター発表の 2 つの形式から選択してください。
2. 筆頭演者としての発表は 1 人 1 演題としてください。
3. プログラム編成の都合上、希望した発表形式を変更していただく場合があります。予めご了承ください。
4. 発表時間、会場に用意する発表用 PC やポスター掲示板のサイズなどの機材については山形県理学療法士会ホームページやメールなどで後日お知らせします。

### 【生涯学習制度について】

1. 詳細は、日本理学療法士協会「生涯学習制度について」を熟読してください。  
ご自身の履修状況は、日本理学療法士協会マイページから確認できます。
2. 認定・専門理学療法士の方は、口述およびポスター発表にて 1) 更新の必須要件、2) 都道府県士会主催の学会大会での一般発表（20 点）のいずれかを取得できます。マイページに発表実績が反映されたのち、ご自身でいずれかを選択して使用することができます。

#### 【演題応募に関する注意点】

1. 「ヘルシンキ宣言」または「臨床研究に関する指針」などの倫理的問題について演者の責任で遵守されるようお願いいたします。
2. プライバシーや人体に影響を与える内容に関しては、対象者に説明と同意を得たことを本文中に必ず明記してください。可能な限り文書で同意を得ることが好ましいです。
3. 演者が所属する機関の倫理委員会で承認された研究の場合は、その旨を抄録中に記載してください。
4. 倫理的に不適切な内容の演題については、学術大会部で協議し、修正をお願いするか不採用となる場合があります。
5. 応募された演題と学会当日の発表内容が大幅に異なることのないようにしてください。
6. 内容の類似した複数演題および他学会や雑誌等で発表済みの演題応募はご遠慮ください。
7. 利益相反（COI）の有無に関わらず、発表スライドまたはポスターにて COI の開示をお願いいたします。COI についての抄録への記載は不要です。申告すべき事項と条件は日本理学療法士学会の基準に準じます。演題登録前に必ず確認して下さい。

[【https://cms.jspt.or.jp/upload/jspt/obj/files/shinsa/jspt\\_coi\\_20220310%20\(1\).pdf】](https://cms.jspt.or.jp/upload/jspt/obj/files/shinsa/jspt_coi_20220310%20(1).pdf)

#### 【抄録について】

1. 当会ホームページより「抄録サンプル」をダウンロードし、使用ください。  
レイアウトは 2 段組み、余白は上下・左右 20mm、英数字は半角としてください。
2. 演題番号は受付後、こちらで記入しますので入力しないでください。
3. タイトルのフォントは日本語を MS ゴシック、英数字は Century を使用し、サイズを 10pt とし、太字としてください。氏名・所属・キーワード・本文のフォントは、日本語を MS 明朝、英数字は Century を使用し、サイズを 8.5pt としてください。
4. 所属施設名は省略形を用いず、かつ可能な限り法人名や部署名を省略いただき、同部署から複数の演題を登録する場合は同一名称に統一してください。
5. キーワードは標準的な用語で単語一語とし、カンマ(,)区切りで 3 個以内としてください。
6. 本文は、文字数を日本語全角換算（半角英数字は 2 文字で 1 文字）で 1500 字以内とし、  
【はじめに・目的】・【対象及び方法】・【説明と同意】・【結果】・【考察】・【まとめ】などの小見出しを必ずつけてください。小見出しも文字数に換算されます。【対象及び方法】については、症例発表の場合は【症例紹介】・【初期評価】と変更していただいても結構です。また、理学療法プロセスにしたがって、【問題点】・【目標設定】・【治療】・【経過】を追加していただいても構いません。
7. 【説明と同意】については、対象者に説明と同意を得た場合はその旨を本文中に必ず明記してください。倫理委員会の承認がある場合は抄録中に記載してください。症例発表の場合は、【症例紹介】の次に記載してください。
8. 本文の行間は最小値とし、2 段組みの 1 段分の範囲に納まるようにしてください。
9. 本文は、可能な限り文章表現での記載を心がけてください。
10. 句読点は「、。」ではなく「，．」を使用してください。
11. 抄録に図表は使用できません。また、参考文献の記載の必要はありません。
12. 装飾文字の使用は、**太文字**、*イタリック文字*、アンダーライン、<sup>上付き文字</sup>、<sub>下付き文字</sub> のみとしてください。
13. 文字種は入力できているものは使用可能です。

#### 【演題の採択について】

1. 演題を応募していただいた後、学術大会部より受付完了の通知を連絡します。
2. 受付完了後は抄録の修正はできませんので、予めご了承ください。
3. 学術大会部で査読後、演題の採否を決定します。演題採択結果は、連絡先メールアドレスにお送りします。なお、採択後は取り消しができませんのでご了承ください。

【個人情報保護について】

1. 演題登録の際にお預かりする「氏名」「連絡先」などの個人情報は、山形県理学療法士会 学術局（学術大会部、学術誌部）からの連絡や採否・発表通知に使用します。
2. 「演者名」「所属」、また、「演題名」「抄録本文」は、プログラム・抄録集に掲載することを目的として利用します。他の目的には使用いたしません。

数多くの応募をお待ちしております。

なお、不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先：〒999-7782 山形県東田川郡庄内町松陽 1-1-1

医療法人 徳洲会 庄内余目病院

準備委員長 芝田 修平 宛

E-mail : [s.shibata.pt@gmail.com](mailto:s.shibata.pt@gmail.com)

TEL : 0234-43-3434

FAX : 0234-43-3435

以上